



平成30年度一般会計 単年度、純、決算額は6億円で 6年連続の黒字

市の平成30年度一般会計決算は、歳入302億円で前年度対比9億9千万円（3.4%）の増、歳出280億8千万円で前年度対比7億1千万円（2.6%）の増となり、差引額21億2千万円の黒字となりました。そして、実質単年度決算額（前年度からの繰り越しおよび財政調整基金への積み立て・取り崩しを除外した決算収支）は、1億9千万円の黒字でした。さらに、市債の増減を加味した単年度「純」決算は6億円で6年連続の黒字となりました（平成25年度2億円、26年度12億4千万円、27年度7億円、28年度2億8千万円、29年度2億2千万円）。借入金金は93億7千万円であり、対前年度末で3億5千万円減りました。また、20年度決算時に比較すれば7億円減っています。使用目的を限定していない貯金である財政調整基金の30年度末の残高は、49億

円8千万円です。なお、使用目的を限定している各種基金も含めた、いわゆる市の貯金総額は78億円となります。

30年度に行った特徴あるおもな事業と決算金額は次のとおりです。市営宮下住宅建替事業3億6千万円、私立保育園舎整備補助事業2億7千万円、水族館・科学館リニューアル事業8千9百万円、小学校・中学校施設老朽化対策事業8千300万円、防災情報表示板維持管理事業2千400万円、病児・病後児保育事業1千800万円、新築住宅建設等促進補助事業1千800万円、ホームベジリニユーアル事業400万円、名鉄碧南駅西駅前広場整備事業300万円、中小企業出展料補助事業1千万円、創業チャレンジ支援事業600万円です。

今後とも、将来の発展に資する投資を常に行い「世界に誇る碧南市を目指して」、職員一同最大限の努力を傾注してまいります。



△ビオトープ



△市営宮下住宅

平成
30年度

衣浦衛生組合一般会計歳入歳出 決算報告

問 衣浦衛生組合 ☎(41)3479

衣浦衛生組合は、碧南市と高浜市で構成されている一部事務組合です。当組合の事業と決算状況の概要をお知らせします。

組合の主な事業

- し尿の処理（衛生センター）
各家庭から収集された生し尿、浄化槽汚泥の処理
- ごみの処理（クリーンセンター衣浦）
各家庭から収集された、可燃ごみ・粗大ごみの処理および一般廃棄物の処理
- ごみの再生処理（リサイクルプラザ）
再利用できると判断された粗大ごみや家庭にある不用品でまだ使える物の展示・販売
- 温水プールと浴場の運営（サン・ビレッジ衣浦）
クリーンセンターのごみ焼却余熱を利用した温水プール、風呂施設の運営
- 火葬場の運営（衣浦斎園）

